

事業所における自己評価結果					
事業所名	多機能型事業所ごてる018(保育所等訪問支援)			公表日	令和8年 2月 9日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境制・整運備営・	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		事前の確認をご家族様と学校に行い必要に応じて準備を行っています。	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	1		現在2名での訪問支援を自慰ししているが、必要に応じて支援員の増員を行うようにします。
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2			毎月の職員会議を中心に個別のケア会議や活動会議を行っている。突発的な事項については随時検討会議を行なっています。
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			アンケートとは別にモニタリングや、送迎時の会話などで頂いた意見は職員周知を図り、改善に繋げるようにしています。
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		毎回の訪問後に意見交換を行い報告書は全ての訪問支援員、児童発達支援員が確認し周知しています。	
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2		現在第三者評価は行っていないが、今後は貴重なご意見をいただける機会なので検討していきます。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	1	定期的に研修開催を予定している	訪問支援の専門性を向上させるため外部研修を積極的に行っていきます。
	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		ニーズ調査を定期的に行い保護者のニーズと、課題、そして計画にずれがないように細かく修正しています。	
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2			
適切な支援の提供	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		前期、後期の学校の指導計画に合わせてプラン会議を実施しています。	
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2			
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2			
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		朝礼時に実施。 また、状況に応じて適宜実施しています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2			勤務形態の関係で夕礼が不十分な場合は翌朝の朝礼内で周知するようにしています。
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		学校訪問前に管理職の先生と面談し確認をさせていただいています。	
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2			
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		ご家族、学校のニーズが上がった際にその都度確認を行なっています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		担当者会議の開催においては必ず応じて訪問支援員も同席し訪問時の状況を伝え連携を取ります。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		2	行政（市教員）、協力医との連携を主に行っています。	今後の地域の訪問支援の発展のため教育機関とのさらなる連携を取り支援体制を強化します。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		2		十分に出来ていないため外部研修などを通じて技術の向上に努めます。
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	1		十分な参加が出来ていないため今後積極的に参加していきます。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		報告書に加え必要に応じてお電話、訪問等で状況を共有しています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2			個々の支援は実施出来ているが研修等の実施はない。今後必要に応じて準備していきます。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		2		父母の会までは、現在行っていないが一周年記念イベントの際に保護者同士で交流する機会があり、今後も続けて行こうと考えています。
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		2		訪問先での写真等は個人情報の事もありあまり積極的に出来ていないが、活動の概要等はホームページ等に掲載しています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			活動内容をお伝えする場合も、どんな伝達方法が適切かを検討してから行うようにしています。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2			
訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		訪問前に必ず実施しています。必要に応じてコーディネーターや管理職の先生の同席もお願いしています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		訪問先への報告書も作成し報告しています。学校側との相違がないよう配慮して行っています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		実施しています。特に医療連携の部分については積極的に行ってています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			